

【専門医派遣21】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 佐世保特別支援学校

実施日 令和4年9月26日(月)

場 所 佐世保特別支援学校 肢体不自由教育部門棟 1階プレイルーム

講 師 鎌尾 聡子 氏 (産婦人科医)

形 態 ・講話 ・職員研修 ・その他( )

参加者	生徒 (高等部1、2、3)年 ( 52 )人	学校職員 ( 14 )人	保護者 ( )人	その他 ( )人
	-----			
				( )人

テーマ【 あなたらしく生きるために～大人になる前に知っておいてほしいこと～ 】

内容(具体的に)

- 二次性徴と月経について
- 月経トラブルについて
- 妊娠について
- 性感染症について
- LGBTQ について
- 子宮頸がんワクチンについて

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

- ・二次性徴や月経トラブルの話から、男女の体の違いを学び、相手のことを考えて行動することの大切を学んだ。生徒からは、「これからは自分やみんなことを大切にしていきたい」といった感想が寄せられた。
- ・妊娠や性行為について、妊娠をして子供を産み育てることができるようになるまでは、性交をするかしないかを選択することが避妊の第1歩である。望まない性行為はしっかり断ること、避妊の重要性を知っておくことが大切である。また、困ったことや悩みがあれば、一人で悩まずに、信頼できる大人に相談することの大切さを学んだ。
- ・性感染症や子宮頸がんといった病気があることを知り、予防できる方法を知ることができた。避妊やワクチン接種は、自分の体やパートナーを守ることにつながることであることを学んだ。

【専門医派遣22】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立ろう学校佐世保分教室

実施日 令和4年8月25日(木)

場 所 本校 図書室

講 師 医療法人 佐世保晩翠会 村上病院 鏡尾 聡子 氏 (産婦人科医)

形 態 ・講話 ・職員研修 ・その他( )

参加者	生徒 ( ) 学年 ( ) 人	学校職員 ( 13 )人	保護者 ( )人	その他 ( ) ----- ( )人
-----	-----------------------	-----------------	-------------	-----------------------------

テーマ【 思春期の子ども達へ伝えたいこと 】

内容(具体的に)

- ・月経について:二次性徴、月経困難症等とその治療、適正体重
- ・10代の妊娠・避妊方法について:妊娠期間の数え方、妊娠を心配した場合の対応、人工妊娠中絶、避妊方法、SNS でのトラブル、年代別 ART 妊娠率・生存率・流産率 等
- ・性感染症について:症状、予防方法
- ・LGBTQ について:多様な性の形、セクシャリティーマップ、性同一性障害における種々の問題、関連法律
- ・子宮頸がんワクチンについて:キャッチアップ接種、日本のがんの現状、子宮頸がんと子宮体がんの違い、子宮頸がんの発症数と死亡数・罹患率、死亡率、出産年齢との関連、子宮頸がんの予防手段、子宮頸がんワクチン、ワクチンの副反応と安全性 等

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

【講師からの指導・助言】月経痛をはじめとする症状の程度により、本人の本来の力が発揮されていない(発揮できていない)場合があることを知り、そのような児童・生徒に気付いた際には、産婦人科受診を選択肢の一つとして伝えてほしい。このことに限らず、子宮頸がんワクチンの接種等様々な場面において「本人が正しい情報を得て、その上で納得のいく選択をする」ということが大切である。

【職員の行動変容】講演終了後、講演資料を家族に見せて話をしたいという声や、職員間で子宮頸がんワクチンについて話している様子がみられた。

【専門医派遣23】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 佐世保市立浅子小中学校(後期課程)

実施日 令和4年11月10日(木)

場 所 後期課程 8年教室

講 師 とみた産婦人科クリニック 富田 壽三氏 (産婦人科医)

形 態 ・講話 ・職員研修 ・その他( )

参加者	生徒 (7・8・9) 学年 (12) 人	学校職員 (4) 人	保護者 ( ) 人	その他 ( ) 人
	-----			

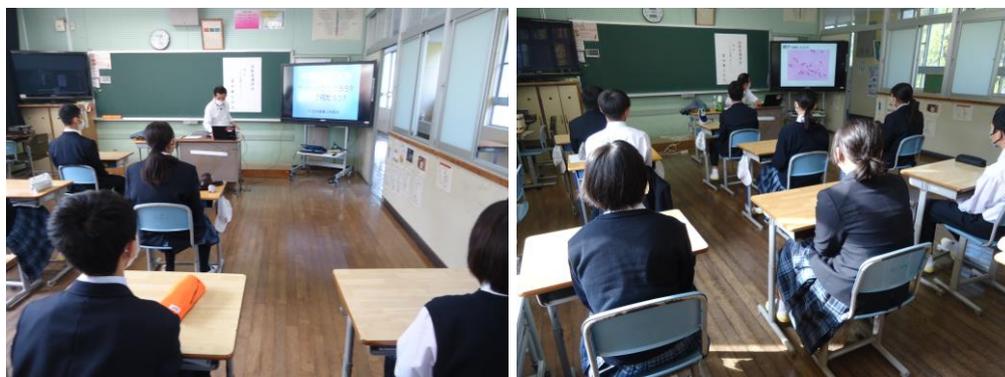
テーマ【性に関する 正しい知識を身に付けよう】

テーマと内容

内容(具体的に)

- ・思春期、性って何だろう
- ・男性の体、女性の体、受精・妊娠の奇跡、出産の大変さ
- ・正しい避妊、人工妊娠中絶について
- ・性感染症、梅毒について
- ・思春期のからだところ、LGBTQ について、リプロダクティブヘルスライツについて

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

- ・学校現場ではアプローチしにくい、デリケートな問題や状況について、たくさん教えていただいた。特に、精子と卵子が作られ、受精し、妊娠するという過程については、熱心にご講話していただいた。また、性感染症については、長崎県や日本全体の数値を実際に提示していただき、問題や状況をより詳しく理解できた。また、講話の途中では、休憩としてハウステンボスや富士山の映像を見せていただいて、生徒達が飽きないような工夫をしていただいた。
- ・一番大切なことは、勉強を一生懸命にして、思いやりのある大人へと成長することが、互いの性を尊重することにつながると教えていただいた。
- ・正しい知識を専門医から詳しく知ることができたのは非常に有意義な時間であった。

【専門医派遣24】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 佐世保市立相浦中学校

実施日 令和4年10月13日(木)

場 所 佐世保市立相浦中学校 体育館

講 師 築山 尚史 氏 (産婦人科医)

形 態 ○講話 ・職員研修 ・その他( )

参加者	生徒 ( 1 ) 学年 ( 133 ) 人	学校職員 ( 11 ) 人	保護者 ( ) 人	その他 ( ) ----- ( ) 人

テーマ【 性について 】

テーマと内容

内容(具体的に)

- ・生命の誕生(妊娠と出産)
- ・避妊
- ・第2次性徴
- ・LGBTQ について
- ・性感染症
- ・人工妊娠中絶
- ・子宮頸がん

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

1年生ということもあるが、ほとんどの生徒が性について知らないという実態が分かった。講話を通して、妊娠や子宮頸がんについて理解し、親と相談して予防接種を受けたいと思う生徒が増えた。また、生理についても、女子生徒はそれまで誰にも相談できず我慢をしている生徒が多いことが分かったが、講演後は生理についての質問が感想文を通して多数あり、今後の相談体制について考えるよい機会となった。男子生徒は、生理に対し、女子だけのことと思わずに相手を思いやった言動を心がけたいという生徒が増え、非常に良い成果が得られたと思う。

LGBTQ については、個性ということやテレビの世界の話ではなく身近な当たり前にあることという認識をもつことができ、周りの人や自分を認め協力して社会を創造していきたいと考える生徒が増えた。

【専門医派遣25】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 佐世保市立世知原中学校

実施日 令和4年12月22日(木)

場 所 佐世保市立世知原中学校 図書室

講 師 東島 博 氏 (産婦人科医)

形 態 ・講話・職員研修 ・その他( )

参加者	生徒 ( 2 ) 学年	学校職員	保護者	その他 ( )
	( 22 ) 人	( 6 ) 人	( ) 人	( ) 人

テーマ【 思春期の心とからだについて理解しよう 】

テーマと  
内 容

内容(具体的に)

- ・性教育事前アンケート調査の結果について
- ・二次性徴(男の子、女の子のからだの変化について)、妊娠と出産について、性の多様性について、子宮頸がん・子宮頸がんワクチンについて

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

実際に命の誕生の現場に携わる産婦人科医ならではの視点から、①男の子と女の子の二次性徴について②妊娠・出産について③性の多様性について④子宮頸がん・子宮頸がんワクチンについてお話をいただいた。事前のアンケート調査では、性について関心がない(60%)わからない(35%)と回答した生徒が多くみられたが、性について向き合い、正しく理解することの大切さに気づかせる機会となった。また、子宮頸がんについてのお話では、がん検診受診率や子宮頸がんワクチンの接種率等の実情を踏まえ、検診およびワクチン接種の必要性について詳しくお話いただくことができた。病気から身を守る方法や、自他を守る行動について理解を深めることができた。性の多様性についてのお話を聴き、自分の気持ちと素直に向き合うことができた生徒もみられた。振り返りでは、「知らないことや不思議に思うことが分かってすっきりした」、「命を増やすことができることは誇れることだと思う」、「性とは人が必ず持っているものであり人にとって大切なものであることが分かった」、「異性にも気を配って生活していきたい」、「体や心などで相手を傷つけるようなことは言わないようにしたい」などの感想がみられ、大変有意義な時間となった。

【専門医派遣26】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立清峰高等学校

実施日	令和5年2月9日(木)			
場 所	清峰高校 大講義室			
講 師	築山尚史 氏 (産婦人科医)			
形 態	・講話 ・職員研修 ・その他( )			
参加者	生徒	学校職員	保護者	その他
	( 3 ) 学年 ( 146 ) 人	( 10 ) 人	( ) 人	( ) 人

テーマと内容	<p>テーマ【 身体と心の大切な話 】</p> <p>内容(具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性行為の意味や性感染症、産婦人科医としてみてこられた妊娠・出産の症例について説明。高校2年生の妊婦を含む3症例から「自分だったらどうするか。」「この先どうなるのか」を考えさせた。</li> <li>・性交の際には産んで育てることのできる時期なのかしっかり考えること、育てられない場合には性交しないことや、確実に避妊をすることが大切。</li> <li>・(男女別の)3人毎にコンドームを配付し、正しい装着方法や避妊失敗の原因・緊急避妊薬について説明。</li> <li>・女性の身体について:生理などホルモン周期による身体と心の変化／卵子の老化とライフステージ／子宮頸がん検診・ワクチン</li> <li>・多様な性(LGBTQ):理解できなかつたとしても、否定しないことが大切。</li> </ul>			
--------	---	--	--	--

<当日の様子>

テーマが「性」であったものの、築山先生の軽快な話しぶりもあり、生徒は緊張することなく時折笑いもあり和やかな雰囲気が進んだ。高校2年生の症例では、男女ともに真剣に考える様子だった。また、避妊の際に必要なコンドームをグループ毎に配布した際には、女子からは「関係ない」との声もきかれたが、女子にも必要な知識である旨を話され納得した様子。男子は、グループで話しながら積極的に観察していた。



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

【講師の意見・助言】

- ・卒業前ということもあり、実際に必要となる知識や性に関する考え方を伝える必要がある。本当は、実際に使用する際に失敗しないためにも避妊具を持ち帰ってもらい自宅で一度練習してほしいが、学校という立場上、コンドームを配付し性交を勧めたと受け止められる可能性もあるため、配付は厳しいと理解できる。
- ・生徒に見て勉強してほしい動画を、今後紹介するので、自宅で各自見て学習してほしい。

【生徒の意見・行動変容】

症例検討の際の表情や感想文から、性や相手への配慮・ライフステージなどについて考える機会になった。

【専門医派遣27】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書				
学校名 <u>佐々町立佐々中学校</u>				
実施日	令和4年9月1日(木)			
場所	佐々町立佐々中学校			
講師	東島 博 氏 (産婦人科医)			
形態	・講話 ・職員研修 ・その他( )			
参加者	生徒 ( 2 )学年 ( 126 )人	学校職員 ( 8 )人	保護者 ( )人	その他 ( )人
	テーマ【 ○「思春期って何だろう ・性って何だろう」 ○「妊娠と出産」 】  内容(具体的に) 中学生の時期におこる二次性徴に伴う男女のからだの変化について、二次性徴の発来 の時期について、性に関する不安や悩みについて、妊娠のしくみについて、妊娠中の女 性のからだの変化や胎児の発育の様子について、また、性的関係を持つことで望まない 妊娠のリスクがあること、中学生には子どもを産み、育てることは不可能であり、妊娠を 防ぐため、性感染症から自分の体を守るために避妊を行うことが大切である事をスライド を見ながら詳しく話をしていただいた。また、女子の子宮頸がんワクチンの無料接種が現 在行われており、子宮がんを減らすためには有効性があるとの説明があった。			
<b>&lt;当日の様子&gt;</b> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>				
<b>&lt;講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等&gt;</b> 中学生、高校生は二次性徴がおこる大切な時期です。また性成熟期の20～30代は妊娠出産が可能 で新しく家庭を持つことは素晴らしいことです。10代で恋人との良い付き合いができればよいですが、10 代後半の妊娠、出産はそれほど望まれるものではありません。STI 感染予防のためにも、性交時には必 ずコンドームをつけることが絶対に必要です。また、女子の子宮頸がんワクチンについては、一度ご両親 と考えてください。中学生3年間と高校1年生までが国の勧める子宮頸がんワクチンの無料接種が現在も できます。20～30歳台の出産時に子宮がんになる確率が減ります。				

【専門医派遣28】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立猶興館高等学校

実施日 令和4年9月15日(木)

場 所 本校体育館

講 師 富田 壽三 氏 (産婦人科医)

形 態 ・講話 ・職員研修 ・その他( )

参加者	生徒	学校職員	保護者	その他
	( 全 ) 学年 ( 259 ) 人	( 29 ) 人	( ) 人	( ) 人

テーマ【 自分の心と身体を大切に！ 】

内容(具体的に)

テーマと内容

- ・思春期について(身体のしくみ、二次性徴での身体の変化)
- ・妊娠について(妊娠は奇跡的なことであり、選ばれて産まれてきたのだ)
- ・性感染症について(症状の写真)
- ・人工中絶のリスクについて
- ・性に関する様々な問題

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

・専門的な知識と、相手を思いやる気持ちの大切さをお話いただいた。講師の「妊娠出産は奇跡的なことで、皆さんは選ばれたのだ」という言葉に、一人ひとりが大切な存在である事を改めて感じたようであった。生徒の感想のなかで「失われてよい命はない、命を無駄にしないように正しい知識をもって行動したい」また、体の変化(二次性徴)では「保健の授業で学んだ事が出来てきて重要な事だと再確認できた」というものがあった。

生徒の感想の多くに「責任ある行動をする」「自分を守る」「相手を思いやる」等の言葉が多く書かれていた。専門的な知識を学ぶことで、生徒の意識の変容につながったと感じている。

【専門医派遣29】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 平戸市立中部中学校

実施日	令和4年12月1日(木)			
場 所	中部中学校体育館			
講 師	平井 雅直 氏 (産婦人科医)			
形 態	・講話 ・職員研修 ・その他( )			
参加者	生徒 (1・2・3)学年 ( 65 ) 人	学校職員 ( 10 )人	保護者 ( 16 )人	その他 ( )人

テーマ【自分と相手を大切にすること】

テーマと  
内 容

内容(具体的に)

- ・二次性徴と男女の発育の違い
- ・妊娠の成り立ちと出産までの過程
- ・月経や射精のしくみと月経痛の対処法
- ・望まない妊娠を避けるための避妊方法
- ・性感染症とその予防方法
- ・子宮頸がんと子宮頸がんワクチン
- ・LGBT など性の多様性

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

- ・思春期における男女の生殖器の発達と月経・射精などの仕組みから、中高生でも妊娠する可能性があること、そのため、自分の体は自分で守ることの指導を受けた。生徒達は、自分と相手の将来のことを考えて行動しなければならないと決意していた。
- ・子宮頸がんの病態やワクチンの説明を聞き、これまで副作用が不安で受けていなかった生徒が、家族ともう一度話し合おうと考えていた。大人になったら検診を受けるという生徒もいた。
- ・性感染症の種類や症状とその予防法を聞き、正しい知識を身に付けて行動・判断しようと生徒達は決意していた。

【専門医派遣30】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 平戸市立中野中学校

実施日 令和4年11月24日(木)

場 所 平戸市立中野中学校 理科室

講 師 平井 雅直 氏 (産婦人科医)

形 態 ・講話 ・職員研修 ・その他( )

参加者	生徒	学校職員	保護者	その他
	( 全 ) 学年 ( 21 ) 人	( 8 ) 人	( ) 人	( ) 人

テーマ【 思春期の心と身体～正しく知ろう「性」のこと、「命」のこと～ 】

内容(具体的に)

- 二次性徴・・・思春期の男女の身体の変化、中高生に多い性の悩み、月経・精通
- 多様な性のあり方について
- 妊娠と出産・・・受精～生命の誕生、10代の妊娠と人工妊娠中絶
- 避妊・・・コンドームの使い方(スライドでの説明のみ)、緊急避妊ピル
- 性感染症・・・性感染症の種類、予防方法、HIV/AIDS
- 子宮頸がんワクチンについて

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

○平井講師より・・・思春期には身体が成熟し、それに伴う悩みも増える時期であるが、自分の心や身体をコントロールできるようになるための期間でもある。相談できる人に相談しながら、正しく心配していくことが大事だと思う。

○生徒の感想より・・・「私が女子なのに、(女子のことについて)知らないことばかりで、色々なことを知らないといけないなと思った」「男子の辛さを知って、理解してあげたいなと思った(女子生徒)」「避妊などは女性だけの問題ではなく男性にも責任があることが分かりました(男子生徒)」「簡単に死ねなど言わないようにしようと思いました。妹たちと、自分の命も大切にしようと思いました」